

株式会社国際デザインセンターの解散に伴う建物資産の活用について

1 趣旨

経済局所管の外郭団体である株式会社国際デザインセンターについて、令和 7 年 3 月 31 日をもって解散する見込みとなった。

当該建物資産は、デザイン振興拠点としての役割を果たすとともに、イノベーション拠点が所在している。

2 経過

令和 6 年 6 月 1 7 日	株式会社国際デザインセンター定時株主総会 法人の解散に関する議案が承認決議され、同社の存続期間を令和 7 年 3 月 3 1 日までとし、存続期間の満了をもって解散する。
7 月 2 2 日	名古屋市外郭団体指導調整会議 株式会社国際デザインセンターの解散及び、解散に伴う事業・財産の整理方針について報告

3 施設の概要

資料 2 「株式会社国際デザインセンター所有施設について」参照

(参考) 株式会社国際デザインセンターの概要

(1) 所在地

名古屋市中区栄三丁目18番1号

(2) 設立年月日

平成4年4月1日

(3) 資本金

121億4,700万円

(4) 出資構成

出 資 者	出 資 額 (割 合)
名古屋市	40億500万円 (33%)
愛知県	40億500万円 (33%)
民間企業等 (99者)	41億3,700万円 (34%)

(5) 設立の目的

デザインに関する諸事業を通じ、地域の産業、文化の発展を図るとともに、国際社会に貢献する情報発信拠点を目指すことを目的とする。

(6) 事業内容

区 分	内 容
デ ザ イ ン 事 業	・ 中小企業のデザイン活用支援 ・ クリエイター創業支援スペースの企画運営 ・ デザイン人材の育成、デザイン啓発
不 動 産 事 業	・ 商業施設「クレアーレ」の運営 ・ イノベーション拠点「ナゴヤ イノベーターズ ガレージ」、市民活動推進センター等の施設賃貸 ・ ナディアパーク施設全体の管理運営

施設概要

【概要】

同社所有施設は名古屋市中区の栄南地区の複合商業施設「ナディアパーク」を構成する区分所有建物である。

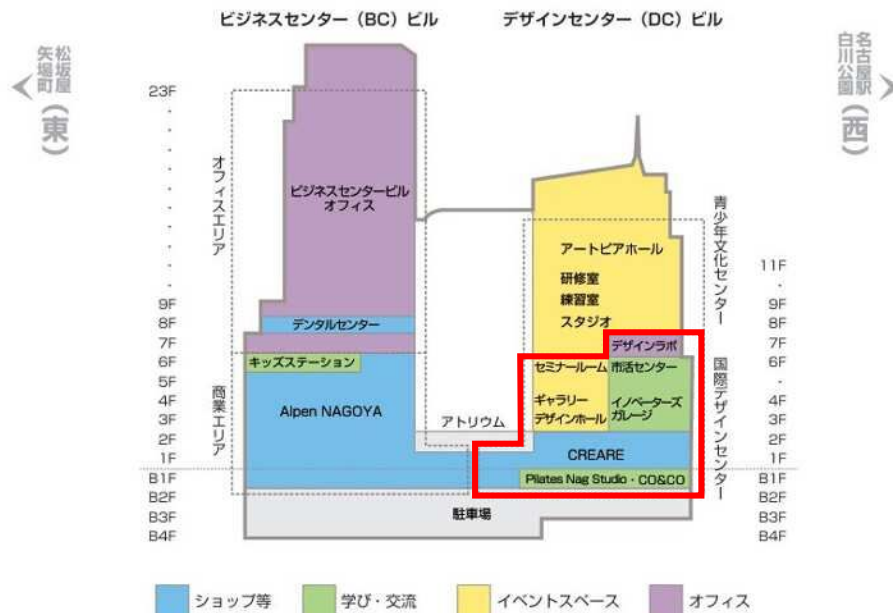
「ナディアパーク」は、ビジネスセンタービルとデザインセンタービルの2棟によって構成されており、同社所有施設はデザインセンタービルの1～7階、地下1階に位置し、地上1、2階、地下1階は主にアパレル系のブランド等がテナントとして入居する店舗エリア（クレアーレ）で、3階～6階は名古屋市及び名古屋市関連団体等が入居者の中心となっている事務所エリアである。7階はデザイン関連企業の事務所が入居する事務所エリア（デザインラボ）で構成されている。

- | | |
|-----------|---|
| (1) 所在地 | 名古屋市中区栄三丁目18番1号 |
| (2) 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| (3) 建築年月日 | 平成8年10月31日 |
| (4) 延床面積 | 専有部11,123.20㎡ 共用部7,383.44㎡
(専有面積で按分して算出) |
| (5) 建設費 | 約110億円 |
| (6) 土地 | 名古屋市所有の行政財産 |

【運営等】

(1) 運営について

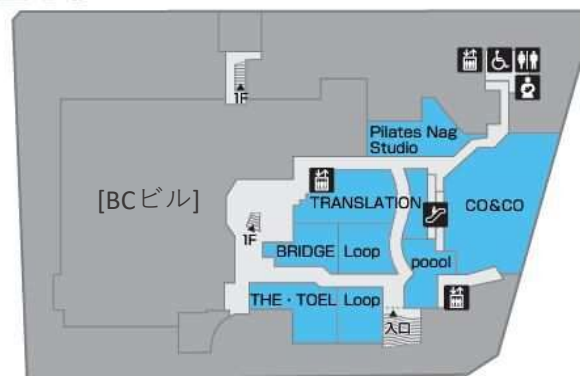
区分所有建物（区分所有者：名古屋市、三菱UFJ信託銀行(株)、(株)国際デザインセンター）となっており、各区分所有者は専有面積に応じて、管理業務に必要な費用や共用部分の修繕等の費用を負担することとなっている。



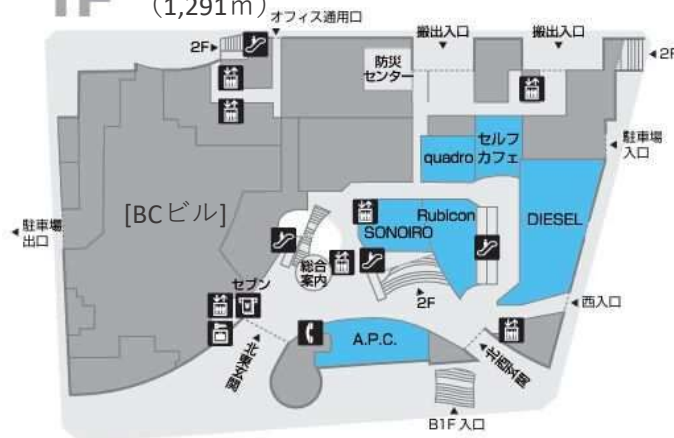
フロア	現 状	備 考
7 階 (南側)	デザインラボ (インキュベーション施設)	
6 階	市民活動推進センター	スポーツ市民局
	貸会議室 (セミナールーム)	
	国際デザインセンター事務室	
4 階	産業振興公社事務室	
	デザインギャラリー	
3 階	ナゴヤイノベーターズガレージ	経済局
	ナゴヤイノベーターズガレージ アネックス	経済局
2 階	デザインホール	
1 階	商業施設	
B 1 階	商業施設 (一部、クリエイター創業支援スペース)	(経済局)

国際デザインセンター所有施設の主な利用状況

B1F (2,191㎡)



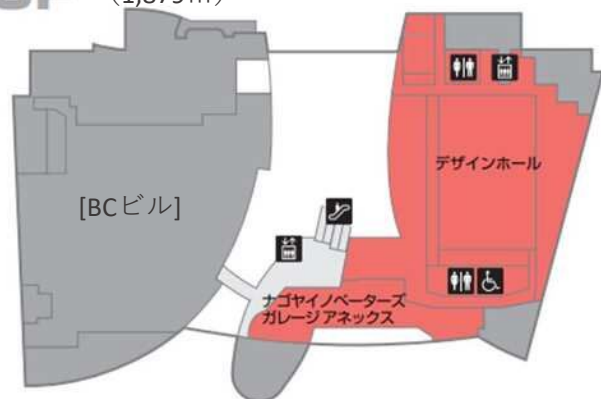
1F (1,291㎡)



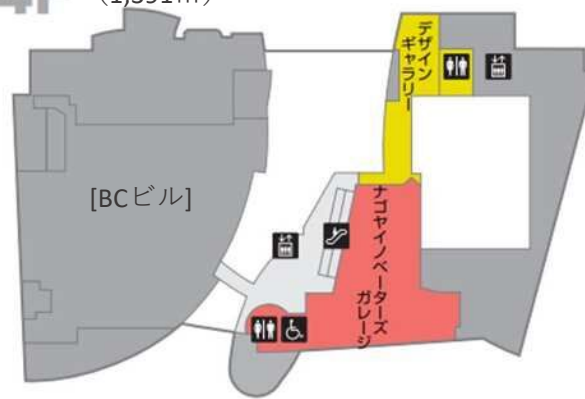
2F (1,476㎡)



3F (1,879㎡)



4F (1,391㎡)



6F (1,884㎡)



7F (852㎡)



[青少年文化センター]

* DCビル5階はありません



(各階の面積は、登記されている専有部分の床面積)



